

安全の追求・品質の向上

当社は安全な物流の実現のために、日々の安全教育や訓練、現場巡視による点検などの活動を欠かしません。そして、安全衛生管理体制や危機管理体制の充実を図り、大切な貨物はもちろん、従業員一人一人の安全確保に最善を尽くしています。

Safety Management

Quality Control

安全衛生管理体制

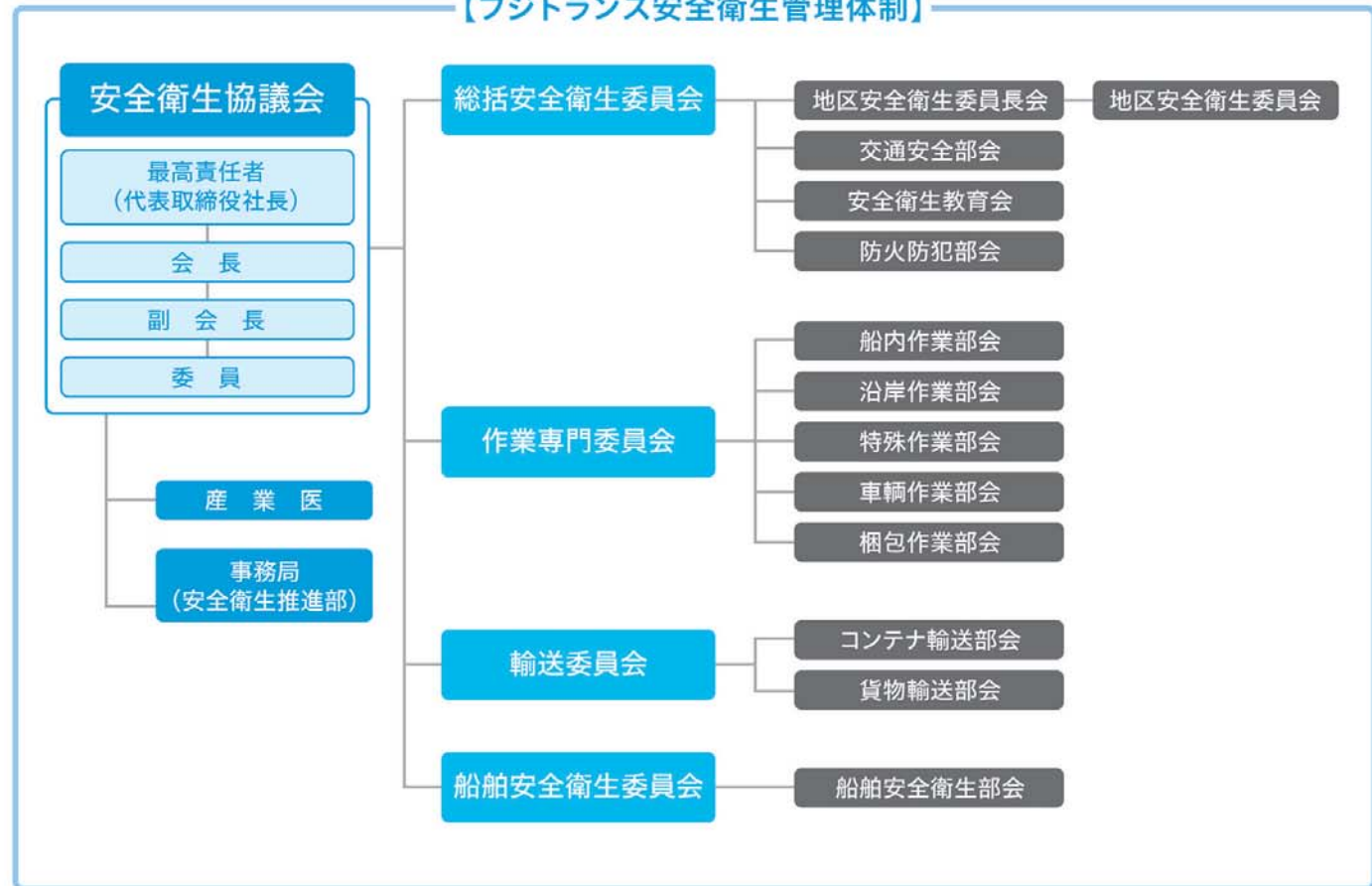
Safety Management & Quality Control

万全な管理体制を構築

安全は、総合物流企業としての重大な使命です。安全管理の徹底は、お客さまからの信頼につながり、事業全体の品質を高めることに通じます。当社では「安全」と「品質」は一体と考え、安全衛生協議会を頂点とした強固な管理体制を構築し、徹底した安全管理に取り組んでいます。



【フジトランス安全衛生管理体制】



各種安全キャンペーン

Safety Management & Quality Control

2019/05/01(水)~09/30(月) 熱中症予防キャンペーン

水分・塩分補給で熱中症対策

5月から9月までの5カ月間、「熱中症予防キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、熱中症の症状や怖さを知り、定期的な水分・塩分の摂取による熱中症予防対策の浸透を図るものです。

期間中は、各支店・出張所や名古屋地区の各事業所に啓発ポスターを掲示しました。また、経口補水液や瞬間冷却剤、固形食塩(あめ、タブレット)などの暑さ対策グッズを配布しました。6月前半には、熱中症予防に関するビデオを使用し、各事業所で社員教育を行いました。



配布した熱中症対策グッズ

上期: 2019/7/2(火)~11(木) 下期: 2019/12/3(火)~12(木) 「ゼロ災」キャンペーン

全ての事故「ゼロ」を目指して

フジトランスグループでは年2回、全国の事業所を対象に「ゼロ災」キャンペーンを開催しています。このキャンペーンは、従業員一人一人の安全意識を高め、安全で安心な職場をつくることを目的とした活動です。

期間中は「全ての事故ゼロ」を目標に掲げ、経営トップ層による現場点検や各専門委員会によるパトロールを行いました。また、全従業員がキャンペーン用のワッペンやシールを身に着け、全員参加で安全意識の向上に努めました。



現場巡視で「ゼロ災」唱和



代表者によるタッチアンドコール

スローガン

- 上期 高めよう 一人一人の安全意識 総合力でゼロ災害
- 下期 職場の安全 家族の安心 災害ゼロは みんなの願い

2019/09/09(月)~18(水) フォークリフト安全運転強化キャンペーン

安全作業の技術を競う

当社グループの作業専門委員会が「フォークリフト安全運転強化キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは、事故対策の徹底と教育・訓練による事故の再発防止を目的に、毎年行っています。

最終日の9月18日には金城ふ頭で、フォークリフト運転従事者を対象に技能競技会を行いました。役員・部門長が技能だけでなく安全装具の着用状況、事前確認の徹底、作業の正確性など幅広い項目を審査しました。各職域から選抜された代表者7人は、日頃の作業で培った技能を競い合いました。



フォークリフト技能競技会の受賞者



安全を確認しながらコースを走行

2019/10/16(水)~25(金) 酸素欠乏症防止キャンペーン

事故の再発防止に努める

木材チップ船での荷役事故対策の徹底と事故の再発防止を目的に、「酸素欠乏症防止キャンペーン」を実施しました。キャンペーンでは、垂幕やポスターを各所に掲揚したり、映像教材で現業員に教育したりして啓発活動を行いました。

11月8日にはキャンペーンの一環として、救出訓練を行いました。チップ船の船内で現業員が酸素欠乏症になったと想定して、救護班を編成し、要救助者に見立てたマネキンを使用し訓練しました。現業員は、緊急事態に備えて各自の役割を確認することができました。



速やかに救助訓練をする現業員



本船前でゼロ災唱和

安全教育・訓練

Safety Management & Quality Control

2019/9/26(木) 災害体験講習会

体験を通して防災意識を高める

災害をより身近に感じてもらうことを目的に、BCP統括本部が名古屋市港区にある名古屋市港防災センターで社員向け災害体験講習会を開きました。参加した代表者22人は、地震発生時の身の守り方や、揺れが収まった後にやるべき行動について指導を受けました。

震度7クラスの地震を体験することができる地震体験室では、激しい揺れに耐えられずテーブルの下に身を隠していました。また、1959年に発生した伊勢湾台風の様子を3D映像で体感できるコーナーや、火災発生時の煙の特性と避難方法を学べる「煙避難体験」コーナーで、さまざまな災害を体験し、防災意識を高めました。

この講習会は定期的に行い、多くの社員が参加できるようにしています。



震度7クラスの揺れを再現できる地震体験室



実際に揺れを体験

2019年10月2日(水) 普通救命講習会

体験を通して応急手当を学ぶ

急病や事故で心肺停止になる人が社内で発生する場面を想定して、本社で普通救命講習会を行いました。講習会には名古屋市消防局 応急手当研修センターの指導員を講師としてお招きし、AED(自動体外式除細動器)の操作方法や人体模型を使った胸骨圧迫・人工呼吸法を学びました。各社・各部門から参加した代表者30人全員は、交代で実機を使い、体験しました。

また、講師から「一秒でも早く応急手当をすることが重要」と説明を受けた参加者は、各事業所のAEDの位置を確認していました。



胸骨圧迫を実践する受講者

2019/11/28(木) 交通安全部会 交通安全講話会

「安全セルフ診断」で自己分析

交通安全部会が、グループ社員の交通安全意識の向上を図り、事故防止につなげることを目的に、交通安全講話会を行いました。毎年、社外から講師をお招きし、グループ会社を代表して多くの社員が参加しました。

今回のテーマは「安全運転を目指して」です。講演では、交通事故と密接な関係にある性格特性を自分で見直すための「安全セルフ診断」を行いました。参加者は、自己分析で自分の性格を把握し、運転にどのような傾向があるかを知り、安全運転のための注意点を確認しました。



診断に沿って自分の性格特性を確認する参加者

2019/12/26(木) 安否確認訓練

万が一に備えて連絡体制を確認

国内対策部会が、国内のフジトランスグループ全社員を対象に安否確認訓練を行いました。この訓練は、震度5以上の地震や、台風・テロ・放射能漏れなどの大規模災害が発生した場合に社員の安否を速やかに確認するためのものです。

訓練は、南海トラフ沖でM7.9の地震とそれに伴う津波が発生したという想定で行われ、メールアドレスを登録している社員に安否確認のメールを送信しました。メール送信後3時間で、ほぼ全ての社員から応答があり、迅速な連絡体制が確認できました。



タブレットで安否状況を確認する国内対策部会のメンバー



訓練では南海トラフ沖地震を想定

2020/02/19(水) 安全・安心職場づくり報告会

より安全な職場を目指す

安全衛生推進部の主催で、「安全・安心職場づくり報告会」を行いました。この会合は、職場に潜むリスクを解消し、より安全に業務を遂行するために各事業所が1年間取り組んできた成果を報告するものです。今年度は、全51事業所を代表して13拠点の代表者が取り組みを報告しました。各現場の性質に特化した取り組みや、他の事業所にも横展開できそうな取り組みが紹介され、さらなる活動推進に向けて情報共有する機会になりました。



代表者が各事業所の取り組みを報告